

令和7年度 第12回美里地域会議 会議録

日 時：令和8年3月12日（木）19時～20時00分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 忠雄、
鈴木 智映子、中島 康隆、野村 耕一、松村 洋、
丸石 敏憲、望月 英光、山本 由和、吉本 勝、
佐藤 弘、柘植 英司

（欠席）小林 健一、清水 幸男、豊田 博久、濱野 敏子、
森口 美代子

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、河野主査

＜（株）サーベイリサーチセンター＞杉田 純一、佐藤 花純

※上記に加え、次期美里地域会議新任委員5名が傍聴参加。

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 高齢者実態調査 調査結果報告書 内容説明

令和8年1月18日（日）に開催した意見交換会において、グループワークで参加者からいただいた意見を、グループごとにまとめた資料を委員に配布した。

また、令和7年11月・12月に実施したヒアリング調査、令和8年1月に実施した意見交換会の内容を基に、（株）サーベイリサーチセンター（以下、「サーベイ」）が作成した「豊田市美里地区高齢者のくらしに関する調査 調査結果報告書」を委員に配布し、サーベイより内容説明を行った。

4 高齢者実態調査 質問及び意見受付

先ほどサーベイより説明した調査報告書の内容に対する質問や、今年度実施した美里地区高齢者実態調査事業の事業検討の進め方などについて、委員から意見を伺った。

【質問一覧】

（質問）報告書内の解決策について、今後市はどのように対応する予定か。

（事務局）解決策については、地域課題解決事業として進めていくものや、所管課の既存事業で対応可能なものなど、カテゴリに分けながら、市長への提言及び事業検討を進めていく。

（質問）今期で退任する委員に対し、今後の情報展開はどのように行う予定か。

（事務局）地域会議の内容や地域課題解決事業の進捗については、基本的には全戸配布での支所だより等で地域住民に情報展開することを考えている。

また、今回退任される委員に対しては、今後の方針が固まった時点で、支所だよりとは別に資料を作成し、進捗を報告することも検討している。

（質問）調査報告書内の解決策について、複数ページに記載があるが、優先順位を教えてください。

（事務局）調査報告書には、意見交換会で出た解決策と、アンケート、ヒアリング、意見交換会で出た意見を要約した解決策を掲載している。どちらが優先というよりは、要約した解決策を基に、各調査で出た意見の詳細を参考にしながら事業検討を進めていくイメージである。

【意見一覧】

- ・今回の調査により、自分の住んでいる地区以外の状況を知ることができた。この情報を自治区に持ち帰り、自分の自治区には何が足りないのか、何を優先して取り組むべきかを考えていきたい。
- ・自治区内で高齢者の暮らしについての課題解決を検討するうえで、市からどのような協力を得られるのか、具体的な情報を教えてほしい。
- ・今回の調査により、美里地区の高齢者に関する課題が浮き彫りになった。調査しただけで終わることなく、少しずつでも形にしてほしい。
- ・課題及び解決策について、地域住民から多くの意見が出ている。これらをすべて並行して進めることは難しいため、何を優先的に進めるべきかを次期地域会議でしっかり協議してほしい。
- ・アンケートの回答は一般的な地域住民の考え、ヒアリング及び意見交換会で出た意見は、現在も活発に活動している地域住民の考えだと思う。それぞれの意見が同じ層から出ていると考えず、どのような人からどのような意見が出ているかも考慮したほうがよい。
- ・「介護保険を受けなくても生活していける地区」というようなキャッチフレーズを作りながら、ある程度の対象を絞って事業を進めていくことも必要だと思う。
- ・この調査結果を基に事業検討を進めるにあたり、地域会議のみで考えるのではなく、改めて民生委員等に話を聞くなど、外部組織とも連携して進めていくとよいと思う。

今回いただいた意見を参考に、令和8年度から新たな地域会議委員とともに、市長への提言及び事業検討を進めていくことを委員に説明した。

5 退任者へのお礼状の交付

退任する委員への豊田市長からのお礼状を、前田支所長が代読し、交付した。

6 事務連絡

令和8年度 第1回美里地域会議について

- ・日時 令和8年4月9日（木）19時～
- ・場所 美里交流館 中会議室
- ・内容 地域自治システム及び地域会議の概要説明